# 洞爺湖を修学旅行でPR

## 虻田、洞爺中学校3年生たち

**洞爺湖温泉誕生１００年を迎えて、修学旅行を町のＰＲに活用しようと虻田中学校と洞爺中学校では、旅行先の宮城県や岩手県で、パンフレットや地元のジャガイモなどを配布。洞爺湖の自然や食をアピールし、洞爺湖町の観光に一役買いました。**

### 虻田中学校

### 自然 温泉 食をアピール

宿泊先の宴会場で洞爺湖町をPRするPR実行委員ら

虻田中学校では、３年生58人が４月24日から26日まで宮城県仙台市、松島町などを訪問し、ＰＲ実行委員が洞爺湖町の魅力を訴えました。

初日の宿泊先では、バイキング会場を借りて、宿泊客を前に、「自然」「温泉誕生１００年」「食」の3テーマで発表を行い、パンフレットを配布しました。

松島町の名所瑞巌寺、五大堂前広場でも、誕生１００年ののぼりをたて、パンフレットや自分の名前入り名刺を配り、観光客に洞爺湖温泉を紹介しました。

この修学旅行に先立って、４月14日、ＰＲ実行委員の６人が観光協会を訪れ、若狭洋市会長を前に、自分たちで作ったシナリオをもとに、ＰＲ活動の実演を披露。

佐々木碧伊子委員長が「修学旅行では、しっかりと洞爺湖町のよさをアピールしてきます」と決意を表明し、若狭会長は「若い人が持っているふるさとを愛する気持ちに負けず、大人達もがんばっていきたい」と若い観光大使らを励ましました。

### 洞爺中学校

### レシピ付 雪蔵ジャガイモ配布

アーケード商店街で洞爺湖町を紹介する洞爺中の生徒ら

洞爺中学校では、４月22日から25日まで３年生14人が岩手県などを訪問し、洞爺湖町を紹介しました。同中では、３年前から東北方面の修学旅行で、まちのＰＲを行ってきました。今年は、雪蔵貯蔵のジャガイモ３～４個、レシピ、絵手紙、ジャガイモのパンフ、町のパンフを袋づめしたものを56セットつくり、盛岡市のアーケード商店街で買い物客に配布しました。

４月15日には、旅行前の事前学習で、レシピにする料理の選定が行われ、揚げ芋、ポテトサラダなど４種類が試食されました。

引き続きＪＡ農協ばれいしょ部会副部長の巻進さんから、ジャガイモの歴史やいわれのほか、雪蔵貯蔵のジャガイモの特色について詳しく聞き、自信を深めました。